

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 6 部門第 1 区分
【発行日】 令和 4 年 9 月 13 日 (2022.9.13)

【公開番号】 特開 2022-55216 (P2022-55216A)
【公開日】 令和 4 年 4 月 7 日 (2022.4.7)
【年通号数】 公開公報 (特許) 2022-062
【出願番号】 特願 2020-162672 (P2020-162672)
【国際特許分類】

G 0 1 T 7/00 (2006.01)

A 6 1 B 6/00 (2006.01)

【F I】

G 0 1 T 7/00 A

A 6 1 B 6/00 3 0 0 S

10

【手続補正書】
【提出日】 令和 4 年 9 月 5 日 (2022.9.5)
【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲
【補正対象項目名】 全文
【補正方法】 変更
【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】
【請求項 1】

可撓性の基材の 1 面に、入射する放射線に応じて発生した電荷を蓄積する複数の画素が配列された画素領域が形成された基板と、

前記基板を収容し、前記基板に対して放射線を入射させる入射面を有する正面部を含む筐体と、

前記筐体の厚さ方向において、前記正面部と前記基板との間に配置された第 1 の緩衝層であって、平面視した場合の外周が、前記基板の前記画素領域よりも内側に設けられる第 1 の緩衝層と、

30

前記厚さ方向において、前記正面部と前記基板との間であって、かつ前記第 1 の緩衝層と重なる位置に配置された構造体とを備える放射線画像撮影装置。

【請求項 2】

前記第 1 の緩衝層は、外周に沿って枠状に設けられた接合部材を介して前記基板側に接合されている。
請求項 1 に記載の放射線画像撮影装置。

【請求項 3】

前記第 1 の緩衝層は、前記基板側に保持され、
前記構造体は、前記筐体側に保持されている
請求項 1 または 2 に記載の放射線画像撮影装置。

40

【請求項 4】

前記第 1 の緩衝層の厚さは、0.06 mm 以上 0.6 mm 以下である
請求項 1 から 3 のいずれか 1 項に記載の放射線画像撮影装置。

【請求項 5】

前記複数の画素に蓄積された電荷を読み出すための駆動信号を出力する駆動回路と、
前記駆動信号に応じて前記複数の画素から電荷を読み出す読出回路と、を備え、
前記構造体は、前記駆動回路および前記読出回路のうちの少なくとも一部を放射線から保護する保護部材である

50

請求項 1 から 4 のいずれか 1 項に記載の放射線画像撮影装置。

【請求項 6】

前記第 1 の緩衝層は、多孔質部材である

請求項 1 から 5 のいずれか 1 項に記載の放射線画像撮影装置。

【請求項 7】

前記基板を挟んで前記第 1 の緩衝層が配置された面側と反対の面側に、第 2 の緩衝層を備える

請求項 1 から 6 のいずれか 1 項に記載の放射線画像撮影装置。

【請求項 8】

前記第 2 の緩衝層は、後方散乱線吸収用の鉛である

10

請求項 7 に記載の放射線画像撮影装置。

20

30

40

50